

2025 年度事業報告及び決算報告

2026 年 1 月 23 日
一般社団法人日本中華總商會
事務局

概要

2025 年度、日本中華總商會は、第 18 回世界華商大会の参加、5 年ぶりの中国視察の再開、そして CCCJ WEEK2025 をはじめ、例会や各委員会事業を 88 回実施しました。これらの事業を通して、会員企業に日本国内だけではなく、世界華僑華人団体・企業とのグローバルネットワークを提供し、その強化に努めております。また、2025 年度は前年度に引き続き、4 つのグループと各委員会の体制のもと、事業のブラッシュアップを通して、会員サービスと会員関係構築の強化を推進しました。さらに、104 社の新規入会を達成し、会員増強も順調に進めています。事務局は、システムの更新、事務局移転など、会員サービスとサポート体制の強化に努めています。これらの取り組みはすべて、会員の皆様のご支援とご協力のおかげで実現したものであり、心より感謝申し上げます。

一.組織体制(法定理事会・執行理事会・評議員会)

執行理事会は日常業務の執行と運営を、評議員会は執行理事会への提言及び華僑華人団体との連携協働を担いました。

法定理事会は 3 ヶ月に 1 回、執行理事会は毎月、評議員会も 3 ヶ月に 1 回開催され、6 月には軽井沢での役員合同会議がそれぞれ開催されました。

・総会（1 回）、法定理事会（臨時含む 6 回）、執行理事会（12 回）、評議員会（4 回）

二.各グループ・委員会報告

1.総務グループ(尚捷グループ長)

1.1 総務委員会(譚玉峰委員長)

今年の総務委員会は、財務管理強化や事務局の会員管理システム、イベント参加システムなど事務局の DX 化に努め、効率的な業務運営を実現しました。さらに、会費規則の整理や承認システムの整備など組織の運営をより明確かつ効率的に整備しました。そして、年末に向けて事務局移転プロジェクトを順調に進め、新たな拠点での業務開始を支援しました。

・総会、迎春会をサポート

1.2 広報委員会(林秀燕委員長)

広報委員会は、YouTube の随時更新、インタビュー 1 話制作実施、さらには世界華商大会の

動画制作などを通じて、日本中華總商会の宣伝活動とプレゼンスの向上に貢献しました。また、事務局と密に連携し、各事業の制作物を作成しました。

1.3 例会委員会(尚捷委員長)

例会委員会は今年役員の皆様のご協力の下、講師をお招きし、事務局と連携をしながら5回の例会を実施しました。多くの会員に参加いただき、新入会員をご紹介する内容を加え、会員間の交流を深める場として定着し好評を得ています。

5月「CCCJ 例会 2024年1回目」	当日参加者数：130名 ご講演者： 許勢永 CCCJ 評議員会副会長
6月「CCCJ 例会 2025年2回目」	当日参加者数：130名 ご講演者： 藤原帰一先生
8月「CCCJ 例会 2025年3回目」	当日参加者数：130名 ご講演者：中華人民共和国駐日本国大使館 公使 趙宝鋼 公使
10月「CCCJ 例会 2025年4回目」	当日参加者数：130名 ご講演者：JTB グループトラベル&マーケティング株式会社代表取締役社長 山田恒夫
12月「CCCJ 例会 2025年5回目」	当日参加者数：200名 ご講演者：東急グループ代表取締役会長 野本弘文氏

2. 渉外グループ(徐志敏グループ長)

2.1 渉外委員会(徐志敏委員長 (兼))

フィリピン、香港、マレーシアなど、10の国と地域の中華總商会との交流を深め、海外交流活動を通じて国際的なネットワークの強化に努めました。また、日本国内の友好団体との交流活動も実施し関係強化に貢献しました。11月には、第18回世界華商大会には、会員193名の代表団を結成して参加し国際的な連携を深めました。詳細については、特別PJのところで報告します。

活動回数 21回

2.2 渉外中国委員会(王秀徳委員長)

5年ぶりに中国訪問視察団を60名で結成。北京と山東省を訪問し経済交流を行いました。そして、大阪万博の年であるため、頻りに訪れる中国各地から来る訪問団を積極的に受け入れ、中国の地方政府、企業や団体との交流を深め、協力の可能性を広げました。

活動回数 14回

2.3 中国聯誼委員会(沈高平委員長)

今年は、上海聯誼会の会員を当会の直接会員に移行し、上海にてゴルフ大会や各種交流会を実施した。また、上海輸入博のイベントに参加し会員同士や各界との交流を深めました。

活動回数 9回

2.2 青年委員会(郭健委員長)

香港やマレーシアをはじめとする各国の青年委員会と交流し、マカオでの CCCJNIGHT を成功裏に完遂しました。300 名を超える各国の参加者から高い評価を得ています。

活動回数 5 回

3.フェロシップグループ(船津康次グループ長)

3.1 会員交流委員会(黒河靖彦委員長)

会員交流委員会には 4 つの部会があり、様々なイベントを 13 回実施しました。多くの会員が参加することで親睦を深めることができました。新入会員との交流や賛助会員との交流などお互いに理解を深めるサポートをしました。学び部会では勉強会を開催し、万博ツアーを企画実施しました。レクレーション文化部会は、毎回 40 名前後の参加者を集め、お花見やライブに公演などいずれも大変好評を博しました。また、レクレーションスポーツ部会は今年初めての試みでゴルフ女子プロアマコンペを開催し多くの方々にご参加頂き成功裏の内に終了しました。

会員交流部会（小野部会長）	昼の交流会 2 回、夜の交流会 3 回
学び部会（平田部会長）	セミナー1 回、勉強会 1 回
レクレーション文化部会（吉野部会長）	レクレーション 3 回
レクレーションスポーツ部会（田部会長）	ゴルフ 3 回

3.2 会員増強委員会(佐々木健一・中馬哲委員長)

紹介者と推薦者の積極的な参画を促し、入会面談のプロセスを確立することによって積極的に会員増強活動を行い、今年も順調に会員拡大を実現し会の発展に大いに貢献をしました。

2025 年度新入会員 104 社

企業正会員	64 社
個人正会員	10 社
企業賛助会員	29 社
団体会員	1 社

3.3 次世代経営塾(郭健委員長)

今年は経営塾 4 期目。メンバー 8 名を募って、4 回活動を展開しました。

活動回数 4 回

4.ビジネス開発グループ(段卓グループ長)

4.1 ビジネス開発委員会（段卓委員長（兼））

今年で 2 年連続の分科会となる活動では、EC 分科会と不動産分科会以外にヘルスケア分科会と企業視察を新たに立ち上げ企画・実行しました。不動産分科会は関西中華總商会との共同イベント開催やマカオ・珠海企画の実施など活発な活動をしてきました。企業視察では熊本視察と上海 AI 展示会視察を実施し高い評価を得ています。

活動回数 11 回

（うち：分科会 9 回、企業視察 2 回）

5.特別協議会運営委員会

5.1 インバウンド協議会運営委員会（譚玉峰委員長（兼））

日本のインバウンド事業の拡大を促すために新設した特別委員会です。前年の CCCJWEEK の分科会に続き、2025 年の CCCJWEEK にも分科会を企画開催し高評価を得ています。

活動回数：1 回

5.2 スタートアップ協議会運営委員会（渡邊洋行委員長）

若手の起業をサポートし、スタートアップのグローバル化を目的に本特別委員会を新たに設立し、前年の CCCJWEEK の分科会に続き、2025 年は形を変えてスタートアップのグローバル化に焦点を当て、2025 年 CCCJWEEK でパネルディスカッションを企画実施しました。

活動回数：1 回

6.特別 PJ

6.1 第 18 回世界華商大会（徐志敏実行委員長）

当会は日本唯一の世界華商大会の窓口として、11 月 2 日～4 日の 3 日間のスケジュールで第 18 回世界華商大会に連続 3 年となる約 200 名の代表団を組織し参加しました。大会期間中当会が中心となって「CCCJ NIGHT」を開催し、マレーシア、香港、シンガポールをはじめ、多くの国と地域の中華總商会のメンバーが参加しました。また、蕭会長をはじめとする CCCJ の代表と世界華商大会顧問委員会の方々も参加しました。

6.2 CCCJ WEEK2025（蕭実行委員長）

9 月 9 日に「CCCJ WEEK2025」を開催し、1 日の中で 3 つセッションを開催しました。翌日の 9 月 10 日には、女子プロを招いたゴルフコンペを 80 名規模で開催し、会員を中心とした参加者も大いに盛り上がり好評でした。

6.3 中国視察ツアー（王秀徳実行委員長）

コロナで暫く途絶えた中国視察ツアーが 5 年ぶりに再開し、会員 60 名を率いて北京を訪問した。企業視察を中心に充実した企画内容でしたが、更にはオプションツアーとして山東省の威海、濰坊の視察訪問も企画され役員と会員約 30 名が参加しました。大変実りのある視察訪問ツアーとなりました。

7.政策委員会(辛赤邑委員長)

政策委員会は今年、評議員会と連携し分会との交流を重点的に行った。秋には嚴評議員会会長に伴って新潟に行き、新潟東北中華總商會と交流を行い、年末には蕭会長とともに関西で開かれた「関西の夜」に参加してきました。

以上